

学修成果の履修認定、成績評価、進級・卒業判定について

1. 学修成果の履修認定、成績評価について

出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。

- ①学科毎に、学期末毎に、課題・試験等による学期末考査を行う（年2回）
- ②学期末考査を受ける者は、各科目毎に出席率80%以上である事が必要である
- ③成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)で、D評価を不可とする
- ④内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。
ただし、別途追試験・追課題の審査料として、1科目につき4,000円を請求する。
- ⑤学修成果の評価は成績表としてまとめ、保護者宛に郵送する（年2回）
- ⑥上記に加え、年度末に行われる「進級判定会議」「卒業判定会議」において、修了課題・公演、卒業課題・公演の評価と共に、最終的な進級・卒業認定判断を行う。

2. 成績評価におけるGPAについて

GPAとは、履修した全科目の成績の平均を数値で表したもので、それにより、成績の分布状況を把握する事が出来る。本学では、年度ごとのGPAを算出する。

- ①成績評価の数値化は、以下の通りとする
A：4、B：3、C：2、C-：1、D：0（履修不可）
※C-は、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認めた場合の評価である
- ②GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする。

3. 進級・卒業判定について

本学では、映画・テレビ・声優・歌手・俳優等、各業界を中心に活躍できる専門技能、知識および、社会人としての一般教養を身に付け、コンテンツ産業を支え、日本が世界に誇る芸術・文化を世界に発信する事を通じて、国際間の相互理解促進に寄与し得る人材育成を目的とする。

その目的に従い、各科目毎の成績評価を行い、そのうえで卒業認定の審査項目として①～⑤を定め、年度末に全校の教育課程編成委員による「卒業判定会議」を実施、進級および卒業認定を行う。

- ①出席率：学科毎の出席時間数の80%以上（各教科）出席していること
- ②単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること
- ③卒業制作／公演：評価C以上を取得していること
- ④授業料その他納付金に未納がないこと
- ⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。
ただし、別途追試験・追課題の審査料として、1科目につき4,000円を請求する。